

令和5年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成「事業評価」(事業概要)

団体名	社会福祉法人大東市社会福祉協議会	総合評価 A	評価基準(総合評価) S(非常に高く評価できるもの) A(高く評価できるもの) B(一定の水準にあるが一部課題のあるもの) C(一定の水準にあるがかなり課題のあるもの) D(全般的に多く課題のあるもの)
事業名	ICTを活用した新たな地域づくり		
実施期間	2023年4月1日～2024年3月31日		
助成(実績)額	3,831,333円		

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果
コロナ禍を経て、人々が集まることができない状況になっても「つながる」ことが途切れないよう、歩みを止めないようにタブレット端末を利用したオンライン会議・研修会・資料や予定表の共有・SNSの利用を行うことで、集まらなくても事業が止まらない仕組みを整えます。さらにSNSやICTを活用した情報発信・情報共有を推進し、離れていても心のつながりを維持していく取り組みを実現します。「つながる」ことを続けられる仕組みを作るため、まずは関係団体からICT活用の基盤づくりを進めていきます。 <事業内容> 民生委員児童委員協議会役員、校区福祉委員長、お茶のみ休憩所運営委員を対象に ・タブレット端末の導入(タブレットはリース契約) ・使い方についての講習会開催 (KDDIと契約し端末導入に合わせて講習会を実施) ・オンライン会議や研修会、SNSツールの活用	2023年5月の助成金決定後、6月にタブレット導入準備、7月にタブレット利用者へ講習会を実施しました。その後8月より運用を開始し、皆さんにタブレットに慣れてもらうため、週に1回の配信に取り組みました。 また、民生委員児童委員協議会の三役会や理事会において、会議資料のペーパーレス化を実施し、タブレットを通じて日程調整やアンケート調査なども行いました。 さらに、校区福祉委員会委員長連絡会では、タブレットを活用し、対面とオンラインを交えて会議を開催しました。 	・タブレット導入に関するアンケートの結果、およそ 7 割の方から導入して良かったとの回答を得られました。 ・府民児連発行の Well おおさかに取り上げられたことにより、他市からの問い合わせ等が入っており、今後も導入を検討する市町村のモデルになっていきたい。 